

# electro-harmonix

## DELUXE MEMORY MAN 1100-TT

### Tap Tempo Analog Delay with FX Loop, Modulation and Expression Pedal Control

DELUXE MEMORY MAN 1100-TT をご購入いただきありがとうございます。本機はタップテンポに加えモジュレーション、ディレイのフィードバック経路にあるエフェクトループ、インプットゲインコントロール、タップテンポ・ディバイド、エクスプレッション・ペダルによる各パラメーターのコントロールなどの機能を有しております。またトゥルーバイパスを採用しています。

**注意：必ず付属の専用 AC アダプターをご使用ください。誤った AC アダプターの使用は故障や事故の原因となります。誤った AC アダプターの使用が原因の故障については保証対象外となります。**

## コントロール&インジケータ

### DELAY コントロール

ディレイタイムを調整します (52ms ~ 1100ms)。右に回すとディレイタイムが長くなります。通常ディレイタイムを長くするとノイズが増えます。ディレイタイムを最長に設定すると、リング・モジュレーション (高周波の音) が聴こえますが、故障ではありません。

TAP フットスイッチで、ディレイタイムを設定するとコントロールの設定は無効になります。タップテンポで設定した状態でコントロールを回すと、再びディレイ・コントロールが有効になります。エフェクト音を出しながらコントロールを回すとピッチが変化します。

エクスプレッション・ペダルでコントロール可能な最長ディレイタイムも DELAY コントロールで設定できます。

### FEEDBACK コントロール

右に回すとディレイの繰り返し回数が増えます。設定を高くすると発振します。最小にすると繰り返しは1回です。エクスプレッション・ペダルでコントロールする繰り返し回数の最大値も設定できます。

### DEPTH コントロール

ディレイタイムに加えるモジュレーションの強さを調整します。右に回すとモジュレーションが強く掛かり、最小にすると掛かりません。エクスプレッション・ペダルで調整するモジュレーションの最大値も設定できます。

### RATE コントロール

モジュレーションのスピードを調整します。コントロールを右に回すとモジュレーションのスピードが早くなります。DEPTH コントロールが最小の時は、RATE コントロールの効果はありません。エクスプレッション・ペダルでコントロールできる最も速いスピードの設定も RATE コントロールでセットします。

### GAIN コントロール

入力ゲインを調整します。コントロールを右に回すと入力ゲインが大きくなります。幅は、-13dB ~ +20dB です。ゲイン段は入力信号が最初に通る回路です。

### BLEND コントロール

エフェクトが掛かっていないドライ音とエフェクト音のバランスを調整します。コントロールを右に回すとエフェクト音のバランスが多くなります。

## スイッチ & LED

### BYPASS フットスイッチ & LED

エフェクトのONとOFFを切り替えます。エフェクトがONの場合、LED が点灯します。OFFではトゥルー・バイパスです。

### EXP. MODE ボタン & LED

EXP. MODE で外部エクスプレッション・ペダルでコントロールする内容を切り替えます。EXP PEDAL 端子にエクスプレッション・ペダルを接続します。いずれかのLEDが点灯していれば、エクスプレッション・ペダルでエフェクトを操作できます。LED が点灯していない状態にすれば、ペダルを接続していても機能をOFFにできます。設定は、電源をON/OFFする際に保存/読み込みを行います。

### TAP フットスイッチ

TAP フットスイッチを2回踏むと、その間隔に合わせてディレイタイムを設定できます。TAP スイッチを3回以上踏むとその間隔の平均を測定してディレイタイムを設定します。

タップテンポでディレイタイムをセットする場合、常にTAP DIVIDE の設定を参考にします。例えばTAP DIVIDE が8分音符の場合、タップタイムが1秒ならば、実際のディレイタイムは0.5秒になります。

タップの場合、最長ディレイタイムは1.5秒ですが、長いディレイタイム設定にすると、エフェクトの音質がローファイになります。タップの設定は電源をON/OFFする際に保存/読み込みを行います。ディレイタイムは最後に設定した値になります。またエクスプレッション・ペダル使用時の最長ディレイタイムは、TAP TEMPOとTAP DIVIDE の設定によります。

### TAP フットスイッチを踏んだままにする

TAP フットスイッチを踏んだままにすると、FEEDBACKの設定が高くなります。TAP スイッチを離せば元のFEEDBACK の設定に戻ります。踏んだままにした時のFEEDBACK 設定は、予め設定してありますが、後で変更もできます。変更するにはTAP スイッチを1秒以上踏んで、TAP スイッチを踏んだままの状態、FEEDBACK コントロールを回して設定します。TAP フットスイッチを離せば変更完了です。

初期設定に戻したい場合は、EXP. MODE ボタンを押しながら電源を入れます。EXP. MODE のLED が全て点灯したら、EXP. MODE ボタンを離します。これで初期設定に戻ります。

### BEAT LED

ディレイタイムやTAP スイッチを踏んだテンポに合わせて点滅するLED です。TAP DIVIDE の設定には影響されません。

### TAP DIVIDE ボタン & LED

TAP DIVIDE (分解能、拍) を選択するボタンです。TAP スイッチで設定したテンポは、TAP DIVIDE ボタンで設定した音符で分割したディレイタイムになります。本機では、常にプレイヤーがタップした長さを、4分音符として長さを測定します。その長さを基準にTAP DIVIDE で設定した長さに調整します。TAP DIVIDE がOFFの場合、LED は点灯しません。以下の表はタップが600msの場合の各TAP DIVIDE でのディレイタイムです。

TAP DIVIDE 設定	音符	DIVIDE RATIO	ディレイタイム (for a 600 mS TAP)
4分音符 / OFF	♪	1/1	600 mS
付点8分音符	♪.	3/4	450 mS
2拍3連符	♪ <sub>3</sub>	2/3	400 mS
8分音符	♪	1/2	300 mS
3連符	♪ <sub>3</sub>	1/3	200 mS
16分音符	♪	1/4	150 mS

DELAY コントロールでディレイ・タイムを設定した場合、ディレイタイムはTAP DIVIDE ボタンの影響を受けません。TAP DIVIDE の設定は電源をON/OFFする際に保存/読み込みを行います。

### TAP DIVIDE シーケンスモード

本機には秘密の隠しモードがあります。それはTAP DIVIDE シーケンスモード。このモードにすると、6つのTAP DIVIDE モード (♪ ♪ ♪<sub>3</sub> ♪<sub>3</sub> ♪) を順番に繰り返します。繰り返すスピードはRATE コントロールで設定できます。次の方法でTAP DIVIDE シーケンスモードになります。

- 1 TAP フットスイッチでディレイタイムを設定します。DELAY コントロールでディレイタイムを設定すると、この機能は使えなくなります。
- 2 TAP DIVIDE ボタンを 2 秒間長押しします。すると全ての TAP DIVIDE LED が点灯しシーケンス・モードになります。
- 3 RATE コントロールで繰り返しの速さを設定できます。
- 4 TAP スイッチでディレイタイムを変更できます。
- 5 TAP DIVIDE ボタンを 2 秒間押しすると、すべての TAP DIVIDE ボタンが点灯し TAP DIVIDE シーケンスモードが終了します。DELAY コントロールを回しても終了できます。

## 入出力 & 電源端子

### INPUT 端子

ギターなど楽器を接続するインプット端子です。インピーダンスは 100k  $\Omega$  です。

### OUTPUT 端子

他のエフェクトやアンプに出力するアウトプット端子です。インピーダンスは 200  $\Omega$  です。

### SEND 端子

外部エフェクトに信号を送るループのセンド端子です。ディレイ回路の前にあります。インピーダンスは 200  $\Omega$  です。

### RETURN 端子

ループに使用する外部エフェクトからの信号を入力するリターン端子です。インピーダンスは 2M  $\Omega$  です。

### EFFECTS LOOP

エフェクトループは、ディレイ回路のフィードバック・ループ (BBD 回路の前) にあります。エフェクトループに他のエフェクトを接続してもドライ音には影響を与えません。例えば、Micro POG をループに接続し、Micro POG のオクターブ上だけを出力するように設定するとディレイ音はオリジナルの音よりオクターブ高い音になります。繰り返す回数が多ければ繰り返す度にディレイ音がオクターブ高くなっていきます。

エフェクトループにボリュームペダルを接続すると、フィードバックをペダルで調整できます。

本機の SEND 端子から外部エフェクトの IN に、外部エフェクトの OUT と本機の RETURN 端子を接続してください。

### EXP. PEDAL 端子

エクスプレッション・ペダルを接続する端子です。推奨ペダルは以下の通りです。

M-Audio EX-P、Moog EP-2、Roland EV-5、Boss FV-500L  
コントロール・ボルテージ：0 ~ 5V

### エクスプレッション・ペダル・コントロール

本機はエクスプレッション・ペダルで BLEND / RATE / DEPTH / FEEDBACK / DELAY をコントロールできます。

エクスプレッションペダルは TRS、コントロール・ボルテージは 0 ~ 5V (TS) が利用できます。EXP. MODE ボタンでエクスプレッション・ペダルが何をコントロールするか選びます。コントロールできる値の幅は各コントロールの設定で決めます。

### TAP SW 端子

外部モーメンタリー・フットスイッチを接続してタップ・テンポを設定できます。ノーマリー・オープン・フットスイッチを使用して下さい。接続したスイッチは本機の TAP フットスイッチと同時に使用できます。Boss FS-5U モーメンタリー・フットスイッチがおすすめです。

### 9V PWR ジャック

付属の AC アダプターを接続するコネクタです。誤った AC アダプターの使用は故障の原因となることがありますので、必ず専用 AC アダプターをお使いください。

### 初期化

EXP. MODE ボタンを押したまま電源を入れると工場出荷時の設定に初期化できます。EXP. MODE ボタンを押したまま電源入れ、EXP. MODE の LED が全て点灯したら、ボタンを離します。これで初期化が完了です。



正規輸入代理店

**株式会社 キョーリツコーポレーション**  
愛知県名古屋市天白区焼山1-813

カスタマーサポート

E-MAIL : [support@kyoritsu-group.co.jp](mailto:support@kyoritsu-group.co.jp)